

KSKP**Threshold**

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニュースレター Vol.50

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュョルドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



あなたの原動力はなんですか

ニュースレターがついに 50 号を発刊することができました。これも皆様のおかげで継続できたこと、仲間たちのメッセージが多くの人に希望を与えたこと、関西障害者定期刊行物協会様が全面的に協力してくださったことによってこの 50 号があります。感謝しかありません。振り返ってみると神戸ダルクも大きく変化を遂げてきた気がします。その中でこのニュースレターが病院や刑務所の中にいる仲間たちに大きな希望になっていることが私にとって継続して編集長をやってこれた原動力だった気がします。

前号では私の病状をちゃんとお知らせして誤解を招かないようにと書きました。そのことでもたくさんの方から応援の言葉をいただいたり、私が元気になったことで、その朗報を聞いた支援者の方々の多くが目には涙を溜めて喜んでくれたことが今の私の原動力になっています。私は所詮依存症者の端くれ、支援者の方々がそんな思いで関わってくれたことに実は驚きました。当事者というのは実は一般の方々が怖くて馬鹿にされないように背伸びして生きています。それが生きづらさにつながるのですが、今の自分はどう表現していいかわかりませんが、腹の底からダルクの活動に精力的になっています。誤解されることもあります。噂話や陰口もあります。今はそんなことはどうでもいい。ライト兄弟は結局空を飛べたんです。支援者の方々と夜遅くまで回復について語り合ったり、健康について分かち合ったり、そのことでダルクの食事が変わってきました。料理長の作る食事は健康的で美味しいですよ。こころと体は繋がっていますね。 神戸ダルクヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 ←郵便物はこちらへ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

共同生活援助(グループホーム)リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)

リカバリーホーム 2&3 TEL078-764-6988(神戸市垂水区)

SPEAK EASY(タコス&お弁当販売) 神戸市長田区久保町 3-6-9 1F TEL 078-584-3902

姫路アディクションサポートセンター 連絡は神戸ダルクへ

智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

ECCNA40 に参加して Journey Continue

代表理事 梅田靖規

2024 年に開催された ECCNA39(Europe Convention and Conference Narcotics Anonymous:第 39 回 NA ヨーロッパ会議 & コンベンション)はフィンランドのヘルシンキでした。その時は日本の名古屋のコンベンションと重なってしまい、そこで発表されたのが、2025 年の 40 回大会はオランダのロッテルダム。私はロッテルダムという言葉聞いた時に真っ先に参加したいことを妻に相談しました。昨年のことです。

2007 年の夏に私はかなりの重症な状態で茨城ダルクに搬送されました。その年の春になる前のことです。私はどうしても薬を止めることができずに、どうしたらいいのかもわからず、なぜこんなに苦しくてなんとかしたいのに止めることができないんだろうともがき続けていました。自分の意志と根性を疑い、信じる人への信頼心も疑い、とにかくどうにかしようと必死だったにも関わらず、諦めを受け入れなければならない時期でした。その頃に私は Jordan Rudess というジュリアード出身の音楽家の Path of truth(真実の道)という曲に出会い、心を打たれ「この人に会えば薬物が辞められるかも？」という幻想を抱きました。いつもそうです。自分の力で頑張れば絶対になんとかできると信じて止めることを挑戦していました。甲子園に自転車で行ったのも、東京に自転車で行ったのも、全部同じ発想です。誰か助けてくれる人がいつかきてくれると信じていましたが結局誰もきてくれず(当たり前)誰かを求めていたんでしょね。私は自分の身の回りのものを売り払い「これで薬物が辞められる」とバックパッカー時代の自分が輝いていたことを思い出しフランクフルトに旅立ちました。というのもこの Jordan がフランクフルトミュージックメッセでフランクフルトにいると調べることができました。しかし、このメッセは、企業が最新の音楽機材を発表するメッセであり、各メーカーの招待状がないと入れなかったのです。が、当時薬で仕事もできなくなりましたが所属していた楽器屋さんが 1 枚招待状を用意してくれました。幾らかの衣類のバックパックと肩からはキーボードを背負いフランクフルトメッセに参加しました。Jordan には会うことができて(上の写真が当時の写真です)私の気持ちとここにきた理由を話しました。彼は優しくハグをしてくれて、握手をしてくれました。Dream Theater のキーボーディストの彼の手はタコの手のようにふにゃふにゃだったのを激しく覚えています。そこで出会ったローランドロッテルダムの鈴木さんが強く私の行動に手を差し伸べてくれて「本当にひとりでここまでできたのか？どうだ、ロッテルダムで私たちと一緒に仕事しないか？ロッテルダムに来なさい」と言ってくれました。こんなおかしい行動をしているのを知りながらも、この行動に何かを感じて声をかけてくれました。涙が出るほど嬉しかったです。僕らがよく考える一発逆転狙いというやつです。

その後旅を続けました。ドイツの各所を拠点にチェコ、スロバキア、ハンガリー、ポーランド、オーストリア、そしてロッテルダム。旅の道筋は宿であったバックパッカー達と話して決めて(当時スマホなどない)とにかく歩きました。足が豆だらけでした。バスで行けるところも歩きました。ザルツブルグ城も歩いて登りました。食べ物は本当にケバブしか食べていません(とにかく安かった)薬も2ヶ月使わずに過ごしました。私の今の活動の基礎になっているヴィクトールフランクルの存在も、ダッハウのコンセントレートキャンプ(強制収容所)で知りました。人生で初めてのカトリックのミサにも参加しました。バツハが属していたトーマス教会では1日祈っていました。そんなことを続けていて薬物のない日々を過ごしました。そしてオランダのロッテルダムに到着しました。

ところがその街は大麻自由だったんですね。至る所でマリファナがありました。マリファナくらいと思い手を出しました。やはり止まらなくなるんですね。ローランドを訪ねましたが私はマリファナでうりっていました。バレていたと思いました。が何も言わず歓迎してくれたんですね。小さなオフィスでした



が私には新鮮でした。しかし、そこを訪れるのはその日が最後になってしまったんですね。というのもマリファナ漬けの日々が永遠に続いてしまったのです。

覚醒剤は切れ目には後悔と苦悩が襲ってくるのですがマリファナは二日酔いみたいなもの以外はそんなこともなく、墮落した生活で用事をぶっちぎっても罪悪感も入らず、あれこそアリとキリギリスのキリギリスの状態だったと思います。だけど覚醒剤を使っていない自分に誇りを持てていました。今考えると変な話ですね。そして本当は親戚のおじさんが小さい頃にビートルズのレコードをくれて、家に誰もいなかったのでいつもそれを聞いていたことから、旅の終わりをリバプールと決めていましたが、マリファナが忙しく(もうめんどくさくなっていた)行かずに帰国しました。その後数ヶ月ですね。どんどん頭がおかしくなって錯乱して茨城ダルクに搬送されたのです。天罰が降ったとしか思えていませんでした。前置きが長くなりましたがそして紆余曲折して今日があります。



実は人生が終わるまでに、自分の回復が安定したらリバプールに行こうと自分の小さなマイルストーンを掲げており、5年前のUKコンベンションのチケットを取りました。そしてCOVID-19です。渡航は中止です。その流れでロッテルダムでECCNAの40年記念大会が行われると情報が入り今回参加しました。当時と同じバックパックを背負ってです。Journey Continue(旅の続き)です。チケットもマイルで取り、食事代も糖尿病の制限があったので苦労はしましたが基本スーパーでゲストハウスのドミトリーというプランでヒースローに到着しました。とにかくあの頃と同じように歩きました。たくさんの人と話を積極的にしました。私はあの頃のように病んではいませんでしたが日々の睡眠の徹底以外は体力の限界まで歩きました。ヨーロッパのNAコンベンションはとてもその場所に意味がある選択を毎回しています。どちらかという昔は薬物が蔓延してた地域の中心でコンベンション開催。みたいな感じが多いです。ロッテルダムの会場も港湾倉庫でした。いかにもというところ。その分お金はかかっていないでしょう。でもアジア地域と同じく、多種多様な人々が楽しそうに集まっていました。私がこれまで出会ってきた多くの外国人の仲間達にもたくさん声をかけられ20カ国くらいの仲間と再会しました。こんな人生が待っていると当時は思えなかったことを回想しながらコンベンションでのメッセージに耳をかたむけました。実はローランドロッテルダム支局はもうすでに無くなっていました。群馬のポールのお骨も、会場にいた3名の友達と一緒に、その隣の運河で散骨しました。

そしてリバプールです。ペニーレインです。ギャバンクラブです。ストロベリーフィールズです。これは私の観光ではなく、ステップ9の中に書いた埋め合わせの続きでした。今の今日一日を私は大切にしない日があったりします。ですがあの頃を思い出し、今の自分がこうやって毎日を地獄とも天国とも思わずに生きている。その中で笑ったり、泣いたり、仲間のことを真剣に考えたりということで生かされている大切なものを思い出させてもらっています。

なぜそこに行くのか？そこに仲間がいるからです。いつだって回復はシンプルです。歯を食いしばって一人でヨーロッパを歩いても薬物は結局止まりません。ですが同じ仲間に関わりに行くことで薬物のない日々は保証されます。ただそれだけの違いが旅の続きにはありました。

過去は変えられませんが未来は変えられるという言葉がありますが、私は過去は変えられると思っています。過去に起こった事実は変わらないかもしれませんが、本当の意味を知ることで過去に起こっていた意味を変えることはできるし、その記憶をアップデートして、今生きていることまで繋げると、過去は変わっていきます。私の部屋にはあの時、フランクフルトメッセでJordanが弾いていたローランドのキーボードがあります。中古で買いました。88個の鍵盤にはそれぞれの意味があり、ぼくの記憶が詰まっています。そして私の人生の埋め合わせのために神戸ダルクを守ってくれた職員さん、スタッフに心より感謝しています。



仲間と遊ぶ

サンちゃん

ダルクへ来て半年が過ぎました。自分の中に明らかに変化が生じているなと感じています。それは、例えば最近だと仲間と海釣りに行った時に感じられました。今までの自分なら「そんなの興味ないし」とか「面倒臭い」という気持ちが前に立ってそれを楽しむってことができなかったと思います。ですが、平磯海釣り公園にて、サビキをしてめちゃくちゃ楽しかったです。何て言うかも異常でした。「楽しさ」が。自分スタッフ研修とかさせてもらっていて、本当ならもっと裏方に徹するべきだったりするのですが…許して下さい。一匹釣れてしまったんです！早々に。もう楽しさに持ってかれてしまって、カメラもシャッターチャンス逃しまくりで夢中になって只々釣ってました。釣り方も他の用意もあって色々試すことができる状態にあるのにずっと同じ方法でやっていました。



釣りをするのは、父に連れて行かれて一度か二度ある程度で、知識もなければ、興味もありませんでした。今までこんな面白い、奥深いものをどうしてしていなかったのかと、目を開かれる体験でした。釣り糸をどこに通してどうしたらその糸が伸びていくのかのことも知らない自分ですが、仲間が教えてくれて形になりました。自分に足りなかったことがそこにあるなと思います。

自分の欠点は、独りで何でもして手柄を独り占めしたいというところです。「誰かに教わって」とか「仲間と協力して」とかそういうのは、今まで自分のやることではありませんでした。ですが今回の釣りはすごく楽しくて、それは仲間と遊べたからだと思います。釣れた時に、仲間が「良かったやん！」とか「初めてやったらめっちゃオモロイやろ」とか言ってくれて楽しさを独り占めじゃなくて、そこにある楽しさがみんなのものって感じが今までの自分の人生にはないものでした。面倒だとかよりも何かを素直に楽しむことができるとこんなに世界がちがうんだなあって思いました。

こうなってくるともはやクスリやってるとかやってないの問題を外れた領域の話と思うかも知れませんが、自分はそこから変わっていくことできっと自分の『生き方』が変わっていくのだと思います。感じ始めたばかりの変化…仲間と遊んで楽しんで日々を過ごしていきたいなと思います。ちなみに釣果は、小さいお魚さんばかりでした。料理の上手な仲間が、南蛮漬けにしてくれて美味しく頂きました。小さいのでこんなに楽しいとなると大モノが釣れたら……今から次の釣りが楽しみです。むふふ。

体験談

きっちゃん

私は、広島刑務所を出所して約二ヶ月が過ぎ、神戸ダルクで生活しております。覚せい剤を止めたいという思いだけで、神戸ダルクへ入所しました。神戸ダルクでは、仲間ができ色んなプログラムを受けています。覚せい剤の恐ろしさは、私なりには充分理解しているつもりですが、依存症という病気はそう簡単に治りそうにないみたいです。そこで、私は、薬を止めて新しい人生を歩みたいと思い、今現在ダルクで頑張っています。

ダルクでは仲間を作ることによって新しい世界が見え、私は現在薬が止まっています。それはやっぱり仲間といることで薬が止まっているのです。今までは出所してすぐに使い、服役するという生活でしたが、今は夢のように薬に手を出さない生活ができています。私にとったら本当に「キセキ」としか言いようがありません。本当に本当に夢のようなのです。

薬を留めて生活していると、色んな幸せを感じとれるようになり、今はとても幸せです。今まで感じたことのない幸せを私は今感じています。今思えば、私は現在刑務所を6回経験しているのですが、1回目や2回目に神戸ダルクと繋がっていたら、もっと私の人生は変わっていたのではないのかと思うぐらいです。今はまだクリーンの日々が70日ぐらいですがこれからもクリーンを重ねて行きたいので、ダルク



の仲間と共に乗り越えて行きたいと思っています。やはり覚せい剤をしていない人生は最高です。こんな幸せなことはありません。

仲間には本当に心から感謝しております。これからも辛いことや苦しいことは沢山あると思います。意志や根性や気合などでは覚せい剤を止めることはできませんが、仲間といることで止まっているのです。ありがたいことです。

最後に、何事もチャレンジだと思えます。人生を楽しむということを神戸ダルクへ入所して感じました。人生捨てたもんじゃないことにも気付きました。色んなことを気付かせてくれたのが神戸ダルクの仲間だと私は胸を張ってこれからも生きて行きます。

須磨海岸で海水浴

ブッキー

この日は、人生で初めての須磨海岸での、海水浴だった。この日も暑くて行く前から、みんなやる気がないかと思ったけれど、意外にみんなノリノリですんなりと出発することができた。かばんに足ヒレ、水中メガネ、シュノーケル、浮き輪などたくさんつめこんでいると、小学生のときのことを思い出して楽しくなってきた。まさか 38 歳にもなって 10 年ぶりの海水浴にこんな形で行くことになるとは刑務所の中にいる時は思いもしなかったけれど、電車が須磨海水浴場に近づいてくるにしたがって、自分でも思っていた以上にテンションが上がってきていた。須磨駅の改札を出て、高台になっている所から須磨の海と砂浜を見て、早く足ヒレと水中メガネとシュノーケルをつけて泳いで潜ってみたくてうずうずしてしまった。昔から泳ぐことや潜ることが好きで得意な方だったし、小学生の頃から淡路島でもよく泳ぎにいらしたし、大人になってからも、川に泳ぎにいったりしていたので楽しみだった。

ピークが過ぎて人がだいぶ少なくなっていたのか、想像していたより、人も少なく無料のパラソルまで熱々の砂をふみしめながら、みんなで荷物をかついで歩いていく間も、泳ぎたくてしかたがなかった。やっと着替えて、足ヒレ、水中メガネ、シュノーケルを持って海に入って久しぶりの海の味と海のおいしさに懐かしさを覚えながら、水中メガネから見える須磨の海の中はキラキラしていてとても綺麗に感じた。久しぶりのシュノーケルはうまくつかえなくて海水で口の中が辛くなってしまったことも懐かしかった。そんな感じで沖の方まで潜って行ってしまっただけで息をするのに浮き上がってくるとライフセイバーに沖まで泳ぎすぎですよと注意されてしまった。潮が引いていて、遊泳区域はかなり浅くて、自分には少しものたりなく感じてしまった。そんな中にもハゼやヤドカリなど色々な生き物を見ることができたり、海の下の方の詰めた海水のヒンヤリとした感触も、太陽のジリジリと肌を焼く感触も海の生臭い匂いも、とても心地よく感じたし、昼食のあと、パラソルの下でのんびりと昼寝してまたシュノーケリングをしに海に熱い砂をふみながら歩いて行った。

しばらく泳いでいたけれど、さすがに疲れてきて上がっていたテンションも落ち着いてきて、次のプログラムのことも片付けのことも考えて、引き上げることにした。みんな海を見て懐かしがったり、テンションが上がったり、自分が思っていたよりも楽しんでいるように見えた。出発するときももっと文句を言われるかと思ったけれど、みんな楽しみにしていたようで、うきうきしているようにも見えた。大勢で行く海は小中学校以来でとても楽しかった。またこのメンバーで来たいと思った。



ラーニングデイズに参加して

おじい

私は今 80 歳になる、薬物依存症のおじいという者で、この中間施設につながって早くも 10 ヶ月が過ぎました。私は今迄、覚せい剤で 12 回も服役して、いろいろ覚せい剤を止める為に、この中間施設で毎日厳しいプログラムに励んでいます。毎日のプログラムの他に毎日の NA ミーティングに参加させてもらい、他の仲間の話を聞かせてもらうことで自分が今迄どうして覚せい剤を止められなかったかに少しずつ気付くことが出来るようになってきました。

NA という自助グループも日本全国にあり時々いろいろなイベントもありで、6 月には愛知県の三ヶ日という所の大きな場所での行事に参加させてもらいました。私も初めてのことで、あるホテルを借り切ったの大きなイベントでした。私が想像していた以上に多くの人に参加されていて、自分もこれだけ多くの人々が薬物で苦しんでいるのに驚きました。そして見ず知らずの人といういろいろな会話させてもらうことで、どれだけ勇気づけられたか分かりません。初めて参加する私にとってこれ程多くの人々が薬物依存症で苦しみ自分はこうして全員が自分の味わっていた経験談を分かち合っていくことで回復一步一步努力して進んでいることに感銘しました。3 泊 4 日の浜名湖での楽しい日々最後の日のまたどこかの場所では会えることの約束をして別れました。

本当に多くの人々がこの NA につながることで 3 年 5 年 10 年 20 年とクリーンでいられることにも驚きました。またこの 9 月にも群馬の方でこの大会があるようですが、私も参加させてもらい、NA の仲間達と会えることを楽しみにしています。私も今 80 歳という年齢になりますので、正直言って何時迄生きられるか分かりませんが、命ある限り真心から回復を目指して頑張りたいと思います。今は本当に NA につながったことを心から嬉しく思い、また感謝しております。



献金を一部使わせていただきました。

いつも神戸ダルクのためにご献金や寄付の物品をいただき本当にありがとうございます。この暑い夏にみんなでいろいろなところに行ったり、送迎したりするためのワゴン車が2台、オーバーヒートやバッテリーの故障で、1台は廃車になってしまいましたが、もう1台は修理をすることができました。いつもたくさんの人数で乗っているのに消耗も激しく、毎週みんなで掃除して点検しているのですがこの夏の暑さでこのようなことになり皆さまからの献金の一部を使わせていただきました。修理費用は 269,060 円でした。誠にありがとうございました。

活動報告

6 月

フードバンク寄付引取
加古川学園講演&家族への講演
NA ラーニングデイズ3ヶ月参加
灘浜スポーツゾーンサッカー体験

7 月

フードバンク寄付引取
加古川学園グループワーク&個人カウンセリング
ジョンソン&ジョンソン打ち合わせ
播磨学園メッセージ
兵庫県地域生活定着支援センター面談
兵庫県精神保健福祉センター依存症教室加古川メッセージ
NA IDT ウェビナー参加
スタミナタロー & 買い物フェローシップ
兵庫県立龍野高等学校講演
ECCNA40参加

8 月

トラウマティックストレス学会シンポジウム参加一橋講堂
矯正局少年院新人研修講話昭島矯正研修所
加古川学園講演&家族への講演
高松刑務所薬物離脱指導
高松刑務所表彰式参加
松山刑務所薬物離脱指導
加古川学園グループワーク&個人カウンセリング
ダルク大きな和理事会
須磨海水浴場海水浴
平磯海釣り公園釣り体験
RSC 座談会参加
兵庫県精神保健福祉センター依存症教室養父メッセージ
Mission100 支援会参加名古屋

9 月

海洋ポート体験&釣り明石海峡大橋
グリコピア見学
法務省霞ヶ関刑務所職員研修 NA 参加

定期開催

姫路家族教室 毎月第2土曜日
神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日
垂水病院すまーぶ参加 毎週金曜日
ヨーガプログラム 毎月2回
明石依存症相談 毎月1回
子ども食堂 毎月第2、第4土曜日



近況報告・活動予定

あっという間に夏も終わるのかと思えるような空になってきました。ダルクにつながってきたばかりの人にとっては、1日が本当に長く感じると思いますが、私にとってはあまりにも早いスピードで日々が駆け抜けていきます。取り組まないといけな事業もうまく進まずと言ったような流れもありますが、ダルクの団結力でまたお正月に向けて日々過ごしていこうと思います。

このニュースレターが届く頃には、仲間たちは NA のコンベンション(全国大会)に参加しているでしょう。刑務所で「ヤク中が 1000 人くらい集まる」と話すとクスッと笑いが起きますが、毎年そこでは魂が震えるようなメッセージがあります。2025 年度もリカバリーデーを開催します。追ってお知らせしていきますので皆様是非ご参加ください。来年は神戸ダルク 10 周年です。あっという間でした。

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」 年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュヨルド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便の取得ができました。年間購読費は年6回発行で2000円になります。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。

個人会員は1口 3000円(ニューズレター定期購読料を含む)からになります。刑務所内の方々との文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談

相談の内容に関する秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘留所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは24時間 OK。 kobe.darc@gmail.com

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献品

兵藤 みゆき 様 小畠 義治・沙世子 様 山崎 圭 様

ご献金

千葉菜の花家族会 富井 建夫 様 生田 茂美 様 伊藤 恵子 様 森のすず社会福祉事務所 様

黒川 奈津子様 森久 智江 様 宋 喜久子 様 (その他匿名希望 1 名)

(令和 7 年 6 月 1 日～令和 7 年 8 月 31 日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

寄付や献品のお願い

お米問題で世間が大騒ぎしている最中、私たちは皆様の温かい支援で毎日おいしいお米が食べられています。本当に感謝しています。子ども食堂もここ数ヶ月は毎食完売で仲間たちもダルクのことを忘れて楽しんでいるようです。いつも心苦しいのですが、ご家庭で余っている食料品（米、野菜、乾物、味噌、醤油など）から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りにいくこともできます。洗剤などもたくさんいただいたので非常に助かっています。今非常に助かるのは、食材や日用品です。心苦しいですが、ご協力をよろしくお願いいたします。また、ボランティア活動も気軽にお声掛けください。私たちは体力だけありますので、荷物運搬など気軽にお声掛けください。日々の感謝をそのようなことで返したいと思っています。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

阪神タイガースも 2 年ぶりに優勝しました。当日はライトスタンドで、隣の席の熱い虎ファンと泣いて抱き合いました。なぜ全く知らない人と熱いハグができるのか？それは同じ思いを相手に感じるからです。人の数だけ人生があります。様々な苦悩や葛藤が人生にはつきものです。その中でも「タイガースを愛している」という気持ちを魂で感じているからハグできたと思います。私たちの回復も同じです。人生で出会うことなどなかった仲間と熱いハグができるのは「共感と希望」を相手の心にも感じるからだだと思います。

神戸ダルク ニュースレター Threshold (出発点) Vol.50

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田靖規

印刷 プリントパック

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1 部 100 円 年会費 3000 円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階